（参考様式）

令和３年度　（　生田高等　）学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史 世界史B		学年	第2学年	教科書	山川出版 詳説世界史 改訂版
			単位数	4単位	副教材	浜島書店 アカデミア世界史

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づいて、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察し、歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
学習方法	・授業は講義を中心としつつ、プロジェクタやタブレットPCなどのICT機器を効果的に活用しながら個別学習やグループ別学習で文献資料、図表の読解にも取り組み、思考力を養う。 ・政治・経済の知識や地理、日本史との関連を意識しながら、多面的・多角的に考察する。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
b	思考・判断・表現	歴史から課題を見いだし，文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的，多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。またその過程や結果を適切に表現する。
c	資料活用の技能	世界の歴史についての諸資料を収集し，有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。
d	知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を，日本の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。

学期	内容のまとまり	単元（題材）	時数	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期12週	第1編 さまざまな 世界の時代	第2章　地中海世界と西アジア	24	1.都市国家から世界帝国へ 2.ローマ帝国の繁栄 3.古代末期の社会と地中海世界の解体 4.地中海世界と西アジア	○	○	○	◎	a: 授業に積極的に参加している。 b: 歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c: 調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d: 歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 提出課題 定期試験
		第3章　南アジア世界	12	1.南アジアにおける文明の成立と国家形成 2.インド世界の形成						
		第4章　東アジア世界	12	1.東アジアにめばえた文明 2.中華帝国の誕生						
2学期14週	第1編 さまざまな 世界の時代	第4章　東アジア世界	12	3.東方の世界帝国	○	○	○	◎	a: 授業に積極的に参加している。 b: 歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c: 調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d: 歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 提出課題 定期試験
		第5章　内陸ユーラシア世界	8	1.騎馬遊牧民国家の興亡 2.草原地帯のトルコ化とイスラーム化						
		第6章　東南アジア世界	8	1.海の道の形成と東南アジア 2.東南アジア諸国家の再編成						
		第7章　アフリカ、オセアニア、古アメリカの地域世界	12	1.アフリカ 2.オセアニア 3.古アメリカ						
	第2編　結び合う地域世界	第8章　イスラーム世界の形成	16	1.イスラーム世界の成立 2.イスラーム世界の発展 3.イスラーム文明						
3学期9週	第2編　結び合う地域世界	第9章　ヨーロッパ世界の形成	36	1.東ヨーロッパ世界 2.西ヨーロッパ中世世界の成立 3.西ヨーロッパ世界の成熟 4.中世ヨーロッパ文化 5.中世的世界の動揺 6.ルネサンス	○	○	○	◎	a: 授業に積極的に参加している。 b: 歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c: 調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d: 歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 提出課題 定期試験
合計時数（50分授業）		140								